

貯法	室温保存
----	------

# 動物用医薬品

承認指令書番号	16 消安第 6334 号
---------	---------------

## ビタミン剤

# ビタミンE注

### 【本質の説明又は製造方法】

ビタミンEは、動物の生殖を左右するビタミンとして発見されたものですが、最近の研究で生殖に関与することは勿論、動物の成長や健康維持に必要なホルモンの分泌を促進し、肝臓や体脂肪をコントロールするビタミンとして注目されています。

### 【ビタミンEの特長】

1. 脳下垂体前葉に作用し、性腺刺激ホルモンの分泌を促進します(子宮・胎盤の働きを活発にして、受精卵の着床をよくし、受胎率を高めます)。
2. 体脂肪の酸化防止作用、不飽和脂肪酸やビタミンAの安定化作用を有し、脂肪代謝を円滑にします(黄色脂肪症を防ぎます)。
3. 脳下垂体・副腎皮質系に作用し、コーチゾン様作用を示します(各種のストレスに対する防御反応をつかさどります)。
4. 組織の老化を防ぎ、機能を回復させます。
5. 骨格筋・心筋等に生じるある種の退行性病変(筋無力症・白筋症等)に対し、特異的に働き、筋肉に活力を与えます。
6. 血液の循環をよくし、酸素や栄養分が体のすみずみまでゆきわたります。

### 【成分及び分量】 100mL中

成分		分量
主 剤	トコフェロール酢酸エステル	5g (ビタミンEとして 5,000国際単位)
無痛化剤	ベンジルアルコール	1g

### 【効能又は効果】

1. ビタミンEの補給
2. ビタミンE欠乏による下記疾病(症状)の予防と治療
  - 馬: 運動器障害、白筋症
  - 牛: 運動器障害、白筋症、繁殖障害、脂肪壊死症
  - めん山羊: 運動器障害、白筋症、繁殖障害
  - 豚: 運動器障害、マルベリーハート症、肝障害、黄色脂肪症、繁殖障害
  - 犬: 運動器障害、筋ジストロフィー症、繁殖障害
  - 猫: 運動器障害、筋ジストロフィー症、黄色脂肪症
  - ミンク: 運動器障害、筋ジストロフィー症、黄色脂肪症、繁殖障害
  - 鶏、うすら、七面鳥: 脳軟化症、浸出性素因、運動器障害、筋ジストロフィー症、繁殖障害、肝障害

### 【用法及び用量】

通常、ビタミンEとして下記の量を1～数回、筋肉内に投与するが、ストレスの程度や症状に応じて用量及び投与期間を適宜増減する。

馬、牛、めん山羊、豚: 体重1kg当たり2～10IUを1日1回量とする。

犬、猫: 体重1kg当たり2～15IUを1日1回量とする。

ミンク: 体重1kg当たり10～35IUを1日1回量とする。

鶏、ウズラ、七面鳥: 体重1kg当たり5～50IUを1日1回量とする。

### 【使用上の注意】

#### 「基本的事項」

#### 1. 守らなければならないこと

##### (一般的注意)

- ・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- ・本剤は獣医師の指導の下で使用すること。

##### (取扱い及び廃棄のための注意)

- ・注射器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒した器具又は他の薬剤に使用した器具は使用しないこと(ガス滅菌によるものを除く)。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒等を行った場合は、室温まで冷えたものを使用すること。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。

#### 2. 使用に際して気を付けること

##### (使用者に対する注意)

- ・誤って人に注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。

##### (対象動物に関する注意)

- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- ・注射部位に痒覚・硬結・発赤・腫脹等を起こすことがあるので、筋肉内にはなるべく深く注射すること。

【専門的事項】

(副作用)

- ・注射部位以外の全身的なアナフィラキシー症状が起こることがある。
- ・反応が起こったときは投与を中止し、痒覚が激しいときは抗ヒスタミン剤を投与すること。

【使用期限】 包装に表示の使用期限内に使用すること。

【包装】 20mLバイアル

【製品情報のお問い合わせ】

日本全薬工業株式会社

〒963-0196 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

フリーダイヤル 0120-452-793

受付時間 9:00-17:00(土日祝日・弊社休業日を除く)

製造販売元



日本全薬工業株式会社

ZENOAQ 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>)にも報告をお願いします。